

## 「災害時事業継続をしていくために」

### ～社会福祉施設 BCP 策定支援事業から見てきたこと～

○発表者名 社福) 鳥取福祉会 特別養護老人ホーム若葉台 所長補佐 西垣正博

#### 1. 問題提起

令和3年4月の介護報酬改定により、令和5年4月までに、施設系・在宅系を問わず介護保険事業所では、BCP（事業継続計画）の策定が義務化され、自然災害等に施設が遭遇した場合も経営資源（『人』『物』『金』『情報』）の損害を最小限にとどめながら、事業継続や早期の復旧が求められている。

また、近年、多発する大規模災害の教訓より要配慮者を支援する福祉避難所の役割が求められており、当施設も鳥取市より『福祉避難所』の指定を受ける中、大規模災害時に事業継続及び福祉避難所の運営をどのように行っていくかが課題となった。

#### 2. 目的

鳥取県社会福祉協議会災害福祉支援センター主催の社会福祉施設 BCP 策定支援事業モデル施設（地震想定）として、佛教大学後藤至功氏（以下指導者）の支援をいただきながら、施設運営及び福祉避難所の運営をどのように進めていくかを考察し、BCP 策定検討シートを完成させることを目的とした。

#### 3. 方法

施設内において BCP 策定委員会を立ち上げ、以下の通り取組を実施した。

期間：令和4年12月23日～令和5年11月6日

委員会メンバー：施設内8名

（職種 所長・所長補佐・生活相談員・管理栄養士・看護師・介護福祉士）

##### （1）BCP 策定検討会実施

###### ① 施設内 BCP 検討会（計3回開催）：委員会メンバー参加

- ・各専門職より専門分野進捗状況確認
- ・施設内ラウンド実施し課題抽出
- ・BCP 策定検討シート確認
- ・福祉避難所しおり確認

###### ② BCP 検討会（計4回開催）：指導者及び鳥取県社会福祉協議会災害福祉支援センター担当者・法人本部職員参加

- ・指導者や外部支援者からアドバイスを受け CP 策定検討シートを検討

###### ③ 地域住民代表者への BCP 策定支援事業説明会（計1回開催）：自治会長及び自主防災会会長参加

- ・地域代表者へ活動の趣旨説明

###### ④ BCP 模擬訓練（計1回開催）

検討会を経て策定したシートを基に9月上旬、シミュレーション訓練を実施

- ・利用者8名の施設内平行避難誘導訓練
- ・災害対策支部立上訓練
- ・備蓄品試食会
- ・シミュレーション訓練を通して、指導者よりアドバイス 等

##### （2）福祉避難所

###### ① 福祉避難所運営について協議（計2回開催）：鳥取市福祉部地域福祉課福祉企画係

担当者参加

- ・運営主体や受入の問題等、協議
- ・福祉避難所での使用物品を配置し、会場のシミュレーション実施

#### 4. 成果

- ① BCP 策定検討シートを雛形とし、専門職へ項目ごと内容検討等を振り分け、協議を行い共有を図りながら BCP 策定検討シートを作成した。専門職が一堂に集まり協議を重ねることで、それぞれの特性を活かした現場に則した物を作成し、指導者より体験談も含めた意見を頂戴したことで有事に備えた、より分かりやすい BCP 策定シートを作り上げることが出来た。
- ② BCP 策定検討シートの作成やシミュレーション訓練を通し、職員の防災意識が高まり、有事を想定しながら日々の業務を意識するようになった。
- ③ 災害時に向けて、自施設における課題を明確化することが出来た。
- ④ 福祉避難所運営に備え、行政担当者と協議を行うことで、具体的な動きを知り、災害時の準備を行うことが出来た。
- ⑤ 地域住民の代表者へ BCP 支援事業の趣旨を理解して貰ったことで、有事の際の地域連携の足掛かりとすることが出来た。

#### 5. 課題

- ① 今回作成した、BCP ワークシートもとに、職員教育を進め、いつ発生するか分からない災害に対して、基本的な対応が出来る体制を整え、有事に臨機応変な対応が可能な組織を作る。
- ② 施設のみでなく、法人全体で共有し、事業形態の枠を超え横の連携を図り、災害に強い法人を目指す必要がある。
- ③ 地域の福祉を支える社会福祉法人として、地域と連携を図りながら利用者の生活を支えると共に、福祉避難所運営等に向け、行政や地域住民と連携を図っていき、有事に備えた組織作りを進める必要がある。
- ④ 電気や燃料等のライフライン備蓄について、法人全体で地元企業と協定を結び、燃料の優先支援等の体制を整える必要がある。

(参考文献)

- 1) 後藤至功・家高将明・北垣智基 社会福祉施設・事業所の BCP 事業継続計画 2  
学ぶ教訓！活かす実践！動く BCP を作る  
全国コミュニティライフサポートセンター 2022 年 7 月